

甘夏みかんの自動外皮剥皮装置の開発

(株)マルミツサンヨー、福岡県工業技術センター機械電子研究所

【背景】柑橘類加工品の需要増の一方、供給が追いつかない状況

(原因)

1) 外注先の高齢化、人手不足

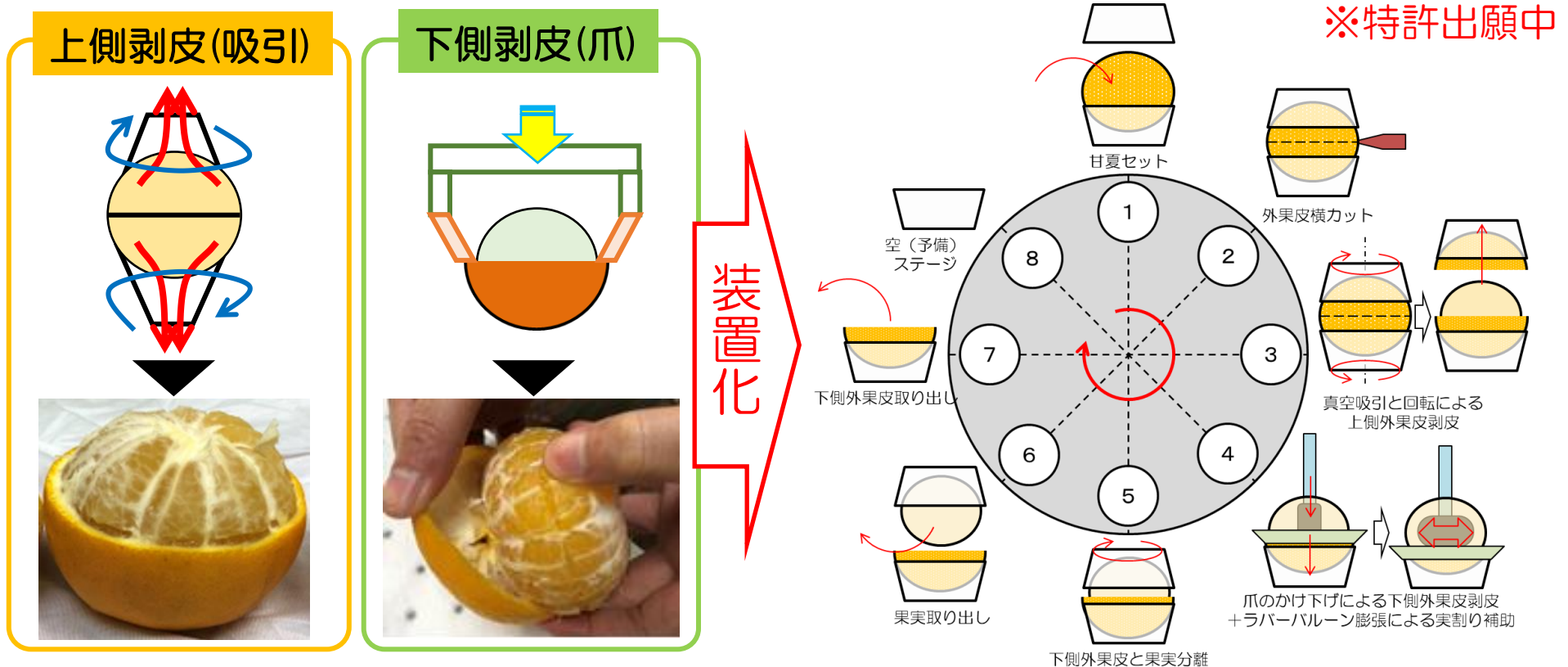
- ・甘夏の外皮剥皮は手作業
- ・処理能力低下 (14t→11t/日)
- ・外注コスト増 (10年で27%増)

2) 原料歩留り率の低下

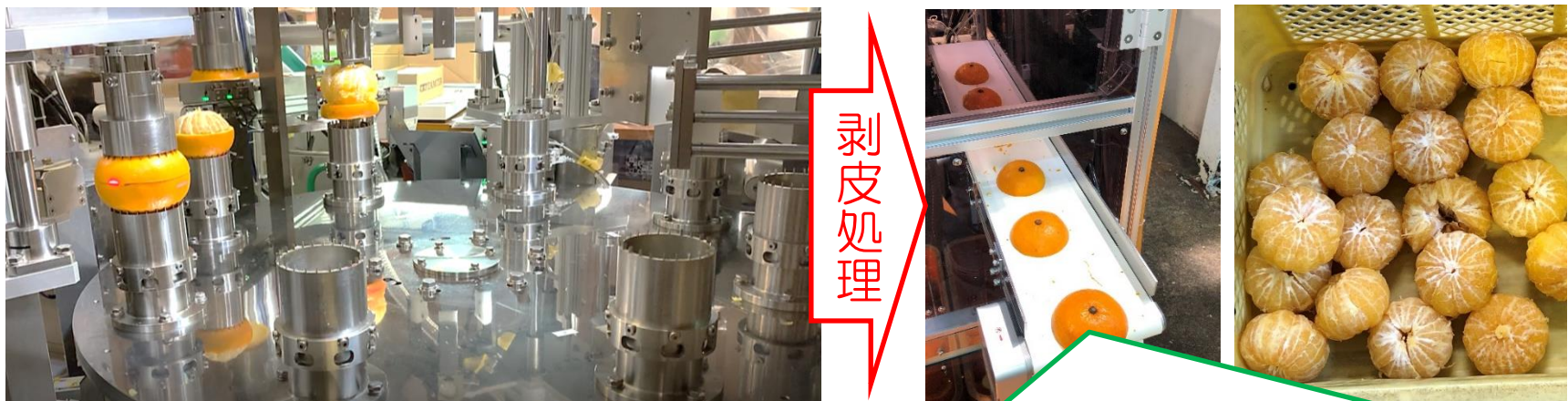
- ・処理能力不足によって
保存期間が長期化し、原料が劣化

外皮剥皮の自動化による課題解決を図った

【開発内容】吸引と爪の掛下げによる自動外皮剥皮装置を開発



【実用化】試作機を製作し、甘夏の処理能力の向上を実現した



剥皮した外皮は2次利用が可能になった→香料、食料品など

R5年度から装置を販売予定 ※販売元：(株)マルミツサンヨー (八女市)

【お問い合わせ先】

■研究に関すること

機械電子研究所 生産技術課
在川 功一 (ざいかわ こういち)
電話：093-691-0260

E-mail: zaikawa.kouichi@fitc.pref.fukuoka.jp

■商品に関すること

(株)マルミツサンヨー
常務取締役 永田 成敏 (ながた なりとし)
電話：0943-37-1131

HP: <http://www.marumitsu-sunyo.co.jp/>